

1 / 11

大安 土

旬のもの 鏡餅(かがみもち)

鏡餅の形は、三種の神器のひとつ、銅鏡からきたとも、人間の心臓の形を形どったとも、または一年をめたく重ねるという意味を形どったとも伝えられています。(この鏡餅を食することを「歯固め」といいます)

今日は鏡開きです。正月に神棚や床の間に供えた大小の丸い「鏡餅」を下げ、それを使って雑煮や汁粉に入れて食べます。正月に一応の区切りをつけて、新たな気持ちで仕事に取り組もうという新年の行事の一つです。昔は武家では男の子のために「具足もち」として祝い、鏡を生命とする女の子の祝日でもありました。

塩の日

1569(永禄11)年、上杉謙信が宿敵・武田信玄の領民が今川氏によって塩を絶たれて困っていることを知り、越後の塩を送った日とされています。苦境にある敵を助けるという意である「敵に塩を送る」という言葉の語源となりました。

鏡開き

正月に年神様に供えた鏡餅を小さく割り、雑煮やお汁粉に入れて食べる日。鏡餅を刃物で切るとは切腹を連想させるとして敬遠され、木槌や手で割って食べるようになりました。鏡餅には家に宝がやって来るようにという意味が込められており、一家円満を願いながら家族でいただきます。

1 / 12

赤口 日

旬のもの パン

毎月12日は「パンの日」です。日本にパンがやってきたのは、1543年のことで種子島に漂着したポルトガル人によって鉄砲とともに伝えられたのが最初だといわれています。そして、1549年来日したフランシスコ・ザビエルのキリスト教布教とともに国中に知られるようになりました。日本人によってパンが作られたのは、1842(天保13)年、「パンの祖」といわれている伊豆の代官江川太郎左衛門が、長崎出島のオランダ屋敷で細々とパンを作っていた料理人作太郎を呼び寄せて、その年の4月12日に日本初のパンが作られたといわれています。パンの語源はラテン語「panis」。日本語でいうパンは、ポルトガル語からきています。

スキー記念日

1911(明治44)年、オーストリアのレルヒ少佐が新潟県の高田陸軍歩兵連隊にスキーの指導を行いました。この日本人初のスキーを記念して、2003(平成15)年に日本鋼索交通協会や全日本スキー連盟など6団体が制定しました。

桜島の日

1914(大正3)年のこの日、鹿児島県の桜島で「大正大噴火」が開始。史上最大といわれるこの噴火で流出した溶岩や火山灰によって、桜島と大隈半島の間にあった瀬戸海峡が埋まり、桜島と大隈半島は地続きになりました。鹿児島市では毎年、噴火を想定した大規模な防災訓練が行われています。